

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【公開番号】特開2004-8625(P2004-8625A)

【公開日】平成16年1月15日(2004.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-002

【出願番号】特願2002-168369(P2002-168369)

【国際特許分類第7版】

A 6 3 B 23/04

A 6 3 B 23/08

【F I】

A 6 3 B 23/04 C

A 6 3 B 23/08

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月9日(2004.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

ペダル板と作動杆から成る左右一対のペダル部の前記作動杆の前端部を、基台の前端部に設けた水平支持軸の両端部にそれぞれ回動可能に取り付け、前記基台に立設したブラケットに前後方向に揺動支持軸を取り付け、該揺動支持軸に揺動杆を左右方向に向けて揺動可能に軸支し、前記作動杆を前記揺動杆の両端部によって上下方向位置を規制して前記ペダル部が交互に上下動するように構成し、前記基台と前記各作動杆の間には、足踏み運動の踏込み抵抗力を与えるためのダンパ装置を連結し、前記作動杆と揺動杆との間を摺接機構を介して接触させた足踏み運動機において、前記摺接機構は、前記両作動杆にそれぞれ平行に配置したスライドピンに上部摺接体を摺動かつ回動自在に挿入し、前記揺動杆の両端部に下部摺接体を摺動かつ回動自在に挿入し、前記下部摺接体により前記上部摺接体を接触支持し、前記上部、下部摺接体同士の接触部は平坦面に形成し、前記上部、下部摺接体が前記平坦部同士により面接触するようにしたことを特徴とする足踏み運動機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するための本発明に係る足踏み運動機は、ペダル板と作動杆から成る左右一対のペダル部の前記作動杆の前端部を、基台の前端部に設けた水平支持軸の両端部にそれぞれ回動可能に取り付け、前記基台に立設したブラケットに前後方向に揺動支持軸を取り付け、該揺動支持軸に揺動杆を左右方向に向けて揺動可能に軸支し、前記作動杆を前記揺動杆の両端部によって上下方向位置を規制して前記ペダル部が交互に上下動するように構成し、前記基台と前記各作動杆の間には、足踏み運動の踏込み抵抗力を与えるためのダンパ装置を連結し、前記作動杆と揺動杆との間を摺接機構を介して接触させた足踏み運動機において、前記摺接機構は、前記両作動杆にそれぞれ平行に配置したスライドピンに上部摺接体を摺動かつ回動自在に挿入し、前記揺動杆の両端部に下部摺接体を摺動かつ回動自在に挿入し、前記下部摺接体により前記上部摺接体を接触支持し、前記上部、下部摺接体同士の接触部は平坦面に形成し、前記上部、下部摺接体が前記平坦部同士により面接触するようにしたことを特徴とする足踏み運動機。

動自在に挿入し、前記下部摺接体により前記上部摺接体を接触支持し、前記上部、下部摺接体同士の接触部は平坦面に形成し、前記上部、下部摺接体が前記平坦部同士により面接触するようにしたことを特徴とする。